放船左の如し

万面に作戦し敵海上交通に重大なる打撃を與へつゝあり、三月十六日まて撃沈せる大不警殺表 (十七日午後三時十五分)帝國海軍潜水艦は目下印度およびビルマ沿岸

見玉、櫻井、

北島の三氏

第三部 第二部 新那

别

卷

成る同意の第一回季にめ、面積の単一回季

最高顧問

印度民衆に英の無力を暴露

隻驚いを撃沈

方面に大撃出撃、十六日も印度洋沿岸のコロンボ、マ・艦はさらに長騙わが本土を

トンを屠つて米國民を震滅せしめたわが潜水などで米油槽船および貨物船各一隻一萬六干一、一の兩日にわたりサンフランシスコ沖合

ンガポールの失陥、バタピヤ冲、スラバヤ沖マレー、エンダウ沖兩海戰における連敗、シは當時のその强力な海軍力のお蔭であつたが

ものあり、最早今日に至つて事質が印度民衆の心理に非常英、蘭、濠西南太平洋聯合 ※

激するところである 左例閣議

「東京展布」十七日の定院的場は

陸軍省發表(計監幹)

同间间间

事情を説明

米國民を震滅せし

說社

重慶の命旦夕

めてゐる。米英とそは東西

の血と対しなのである。

八方量がりの状態にある。

生

、蘭の提携を强化 大東亞建設の大葉に邁進せん

紫源・東郷外相の挨拶

)獨學

時代來るこ

で學獨◇ 应

◇。來出業卒。學中はバッリ . 民 **東不利念 親十八服一月ケー費會○ 集卒月ヶ五十〇** 0

【開京十七日回恩】帝經以府は

、 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年 ・ 東京島民、同十一年

大日本國民中學會

はる大の期待

天津廣東派遣 陳州氏を

命

今 ● はがきで申 はがきで申 を無代で復生 を無代で復生

質不利因の。統十五國一月ケー受賞の 規卒年ケー〇



ラングーン方面 武装商船二隻 一萬九千トンマドラス方面 武装商船三隻 二萬四千トン オコロンボ方面 武装商船二隻六千五百トン 油

トン 貨物船一隻 五千トン 油帽船二隻 二萬トン

てつ振を子帽と艦水潜がわふ向に鑿出

比五第海可許省軍海一**ちた士勇る送を**友

苦鬪今ぞ報

私權を完全享力

令發令命政軍

在比島邦人に凱歌擧る

を民史に忠壮権まる物語を記録したベンデット道路勞働者移民の哀話に端を殺したベンデット道路勞働者移民の哀話に端を殺したベンデッしい進展力に対した。 で加へられた不當な協議は交換機能はも必ずなを基礎の上に開



唯

の遺産

村上瑚磨堆

四溢

能力文化の問題などを洗練せられた

谷 **佐賀二・八○**

ЛJ

敝

Ξ

•

B、総社なと関係政策法に「地間を改革问题は無来の歴史相か 登四 内景省では書談。出「総姶してゐるといふ理由でまた歴

不許可の初處分

1

る行為でなければ一切は原偶也。

本

万面へ出版。サカ日開 で東上サ七日勝任 で東上サ七日勝任

知識·信仰·道德

定公谷隆

隆 正著

· 篇

長全南出張

眞實の世界 鈴木大油業

近 ヨノーノ四四級借京京東

間にはいるのでは、の間をなくして語りに別述することは困事である。本語のかない面は値でない。の間をなくして語りに別述することは困事である。本語では此の別が著者演員の明快さで丁寧に且つ近代的に解いてある。本語では此の別が著者演員の明快さで丁寧に且つ近代的に解いてある。本語では、一部では、一部である。本語では、「一部では、」」では、「一部では、「一語では、「一部では、「一部では、「一部では、「一部では、「一部では、「一部では、「一語では、「では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語では、「一語

H 新 闡 社 發 行

别全 卷十

無常東京一七三〇 电 込金不要 完價一册、六国 治科·科西教 朝

美*事*約豫

科學への一般的關心が深まるにつれて 日本古来の科學と技術を再認識しようと する要求は益。多大になりつゝある。反 之、その全貌を概觀し得る一つの集成す ら見出し得ない現狀に盤み、科學全部門 に亘る文献資料の系統的な集大成を志し 専門の研究者のための確實な資料たることを出ひつ、、同時に一般知識人のわが 科學文化回顧の媒介た。一般知識人のわが 女化に新しい重要な一部面を寄興せんと するのが、本全書刊行に記された本社の ひとかなる抱負と念願である。

內容見本進星 第一回配本伊斯特 納一回配本中



河政長官も同時發令

島三氏の略歴

各部部派を日常の下

19 関係出党の改正及ののうへ居系通り可決

書全典古學科本日

ノた王の大億一的進に敵の等我其米川居

AVANUUN NARAMANIN NARAMIN NARA

る祈を久長運武の軍皇くや輝果戦

伽 伽海 ĽĽ.

第1一報

軍哺の母校を訪らず 就寢前にも五省訓 トしょる世をさいて、他の音・歌人の世に地中的な使用がには、人を心外に迎る無難強迫の動形になったが、といって観音を観の、歩うくとが、は後期してわかるものでなく、真いて観音を観の、歩うくとが、は後期してわかるものでなく、真いてはいる時間の一覧に切めて極れる。 よのだ かくて生る江田島魂

中では上目・18年1日 である。 第九七三 もまるとは、中では、中では、19年1日 ・18年1日 - 18年1日 ・18年1日 - 18年1日 - 18年

の大ノ首単田ニが今後世ケ月テ朝ルモ奥朝申出ナキ职へ 新聞の開か相関電力の電の新聞を改訂五片高い冷味的 式 申込管。據金領・収容無効公告

朝鮮運送株式會社城津支店

西鲜化學株式 會社

が ではるりません。 ではるりません。 ではるりません。 胃腸内臓のやズと ケッシ流して 難い 日陽を利して 難い 日陽を利して 難い 日陽を利して 神から 単化さる 最

本とはなり三月の窓勘にて をまくなり三月の窓勘にできなります。 一条法の秘訣四十ヶ條 かに関係が三月の窓勘にできなります。 本記の金銭励と、家庭 は無用なり

院

傷兵の笑顔で飛ぶ 一の疲れも

闘ふ病院船の衞生兵

原田「豚殻似といる書きは何」るから知れない、優者を激動した一般の手はみな解づける場式のもの

虎)(の)(日)(記)

動かずらりと脱ると大いに動 くなりとなた、触りた、

吾者の患者はものの数ではない。岩田の機能がに来ると明られるのを考えるとす。たら見聞の下るのを考える

東分局は「五」 愈よ廿九日から開局

計

随想二

セット

ローション

0 X

大の戦・数三銭行

調整

鐘 品

粧 旍

品

質 枋 化 £

る

門

酸方のポマード代用に

駅域

東田

優秀です

例###發育 例 例 元 製 智 元

御調要の簡易化

植洲的种种类大型社 新护·普·普 草切斯化斯研究外型

タセを返しウエープを

良く保ちます

柳病 原松 醫院 時 日

四級とは四級が明報 内を成れる時に四級 人の前に都る無限の 東京でも、即等を 東京等の報告で収録 東京等の報告で収録 東京等の報告で収録 東京等の報告で収録 東京等のであるした。 上でもでするのであるした。 でのにしたるの面の まででするのであるした。 でのにしたるのであるした。 でのにしたるのであるした。 でのにしたるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるのであるした。 でのになるである。 でのになるのであるした。 でのになるのである。 でのになるのである。 でのになるのである。 でのになるのである。 でのになるでのである。 でのになるでのである。 でのになるでのである。 でのになるでのである。 でのでのである。 朝鮮マ Ł 選 車 74 選

高少数八百百五

併

七七七

東藤原原

九、〇〇一四、一次

1四八日

車時間表 開發整會社 (選) 選

決定版。國史解說

愈よ年末までに出版

構能戦に來ると勇士は

リニ肩上逆え冷 歴 血高れ線足手 切息幣 助 方の

の持病

730 万年華

大阪・東京・小倉

株式會社 那井商店

には

大空を科學する

大なるので従来分局への通路は、大なるので従来分局で開来時から使用 時に、十九日午前来時から使用 時に、とれまで日齢局が本崎一局で 場合した。

ので、現といいで、日本のようので、「一大」で、ファイターの出る場合で、「一大」「一大」で、ファイターの出る場合で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、「一大」で、

本ののは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、

會創立總會 組织社

、 と映版 「特別と業就と兵」を無料 と映版 「特別と業就と兵」を無料 の開したがその副構造五十個を向

謝禮金を献金 京座

らけ力強い関方建設の東田を贈る。 田さんは 東京協能」おほらかなる南の朝は「七年込の自歌機機関に現ばれた別

南へ行く三氏に訊く

命懸けで御奉公

全鮮中等教員が滑空術訓練

十任昭和十一年形務大島を輸出以

保健厚生のため三ケ所で採用 城大木村教授の研究

働き乍らイオン浴



大都・ない。

京劇

AND THE PROPERTY OF THE PROPER

城資

日本の實力に驚倒

日の開発決定を見たので近く公布」、既時利得税住施行規則中改正

は十六日午後ボートダーウインを大學卒襲軍事施設を爆砕した。 は十六日年後ボートダーウインを大學卒襲軍事施設を爆砕した

荒軍事施設を爆碎

國籍不明機二回に亘り

くラス市(流)を爆撃

自軍の無能を非難、

米英朝野に一大衝動

十六日石川達三

- 小当週間間のミラス市が、開催。昨夜午間楽時十五分地に帰政部が「に激発した路下しさらに同じ、首二名、原献者一名を生じた。トツ選によればトルコ政府は十六日 | 憲法の班、妻妻した | 行機はミラス市ならびにその周遣 | 町の総郷寮園の窓際が降場され死。「テスポン十六日同風・アンカラ | 不明の得行機により交戦をうけた | トルコ戦士を振戦した。これら飛 | に世際が成れる他へた。この帝間跡 |

死者十二、預傷廿一名を出す

りだらはつぎりし

を大なる。 など、用使本 のを大なる。 など、 のでは、 A O

Ø

とがソリ 洗磁·入港後

前

ゲソリ

怒問袋月一回は忘れずに

シー駐米濠公使

英新聞界異變

して十五名が計1名の支部費を とで十五名が計1名の支部費員を の表達選手である機能を受験し右 立で設定を下である機能を受験し右 での設定を下の人間機管はいよ いよ政治院はの配信をなし、選牒 即日告示をよって西管なる機能を 動を行ふことなった

大野總監出發 大野政務調整性工順、思北南溫

が

歌わか

飛水艦は

宝々米本十 録音

能に指揮、振戦の 木曜日の公園を記

影響をあげる強権

素肌のまして 元氣で明るく んな しく まう 10 歌は幽郷の郷場が出ての新聞用でいた。 紙管決戦を除断、カナダから用紙を選が合てたが特別が必要が急や中で駆びされたとめ開発が待びつ 一所側の休刊を魅行するとととなった。これに先立ち各別戦行副論 芯から丈夫にする

~胸.

を

低したのが、心臓と胸、胃の強化薬「敷心」です。 軍角、腓臓、牛茸、鼻珠、等數種の特種動物精膜を配すが。中でも特に大病や数急液身に珍重される、麝香すが。中でも特に大病や数急液身に珍重される、麝香

大夫大衆歌と書るので、歌歌の方々に歌にれます。 とまた歌歌と歌歌と書かた歌歌と書かた歌歌と言かた歌歌して、何を歌から手書しまいので、歌歌してゐる四郎によく向化され、先 『飲心』の優れたホルモン成分は、良く存化吸収

がから、 ないのでは、 ないの

される結果、ないで

学下に聞込ませて宣傳してゐ

選を終る

特種 精 膽藥

か取上:干权的鎮左

教を開発機計のうへのたので、十八日午

ハガキで下肥本館へお申込みアレの本な一册、無代理是中ですからの本な一册、無代理是中ですから 呈

心臓病(無性) を は ない人 が し む 人 が し む 人 か か の 病で 苦し む 人 進

東京市京福祉の人工概二丁目・二

京七二大番

うせまり割を肌あく輝

所業與學化一第 純本

福市小山港 川川本村覧 公者 三大 子代隆即郎郎

十八日マデを禁止映中を

推

日の記録が百倍の元気が百倍

+月月月月月日1月1

封近 切日

漢磨研針蓋用庭家許特

見るなく事人 せき

京, 公田原港和子

プする傑作流行歌/ 2再び皆さまへ御贈 登琶湖哀歌」の歌姫

子都美原笠小・・・ 塩止坎の海上







